

安全の為に必ずお守りください

警告

- 製品を取付ける時は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。またその際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。
- ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して怪我をする場合があります。
- 取扱説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

注意

- 変速レバー操作は、ペダルの踏力を弱くして行ってください。強くペダルを踏んでいる時に、無理やり変速レバー操作をすると、足がついていかずペダルから足を踏みはずして、転倒事故につながる場合があります

使用上の注意：

- CJ-S700 カセットジョイントには、18T～23Tまでのスプロケットをご使用ください。CT-S500 チェーンテンションナーを使用する場合は、専用のCS-S500 チェーンガード付スプロケットの18Tまたは20Tをご使用ください。それ以外のものを使用すると、チェーン落ちする可能性があります。
- チェーンまたはスプロケットに注油するときは、カセットジョイントのラバーベローズやラバーカバーに、油がつかないように注意してください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の劣化は保証いたしません。

SI-6TV0A-001

SL-S700 シフトレバー
CJ-S700 カセットジョイント

ご使用方法



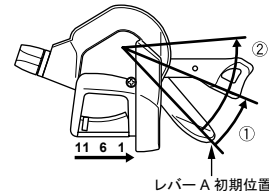
SG-S700 ハブに添付されている取扱説明書も合わせてよくお読みください。

シフトレバーの変速操作方法

操作と同時に素早い解除ができるインスタントリリース機構。押しでも引いても1度の操作で2段変速が可能になった2-ウェイリリース、マルチリリース機構が備わったレバーです。レバーA、Bとも変速完了後、指を離すと必ずレバー初期位置に戻るようにしています。

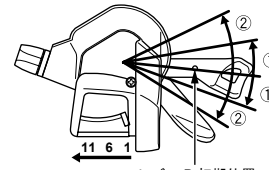
軽いギアへの変速（レバーA）

1段分だけ変速する場合は①の位置まで操作し、2段分変速する場合は②の位置まで操作するという具合に、変速したい段数分のストロークを操作します。最大2段分の一気変速まで可能です。



重いギアへの変速（レバーB）

1段分だけ変速する場合は①の位置まで操作し、2段分変速する場合は②の位置まで操作するという具合に、変速したい段数分のストロークを操作します。最大2段分の一気変速まで可能です。

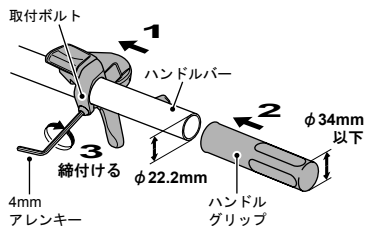


- レバーB 初期位置
- 2-ウェイリリース (双方方向解除)
- マルチリリース

シフトレバーの取付け

図のようにシフトレバーをセットします。

ハンドルグリップは最大外径がφ34mm以下のものをご使用ください。



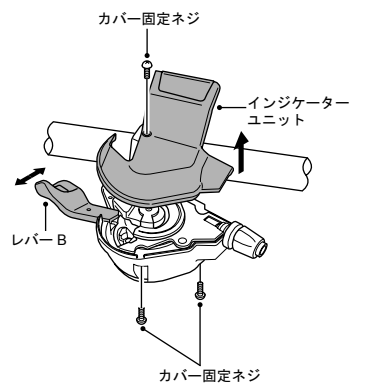
締付トルク：
4.5～6.5N・m (45～65kgf・cm)

インジケーターユニットの交換と組立

分解および組立は、インジケーターユニットの取外しまたは交換時だけ行ってください。

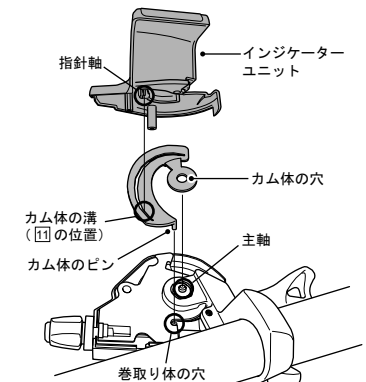
■取外し

- レバーBを10回以上操作して⑪にセットします。
- インジケーターユニットを固定しているカバー固定ネジ(3本)をゆるめ取外します。
- インジケーターユニットを図のように取外します。



■取付け

- インジケーターの指針が左側(⑪)の位置にあることを確認して、インジケーターユニットを真上から取付けます。このとき、カム体の穴に主軸・巻取り体の穴にカム体のピンがそれぞれ納まっていることを確認して、インジケーターユニットの下部から出ている指針軸をカム体の溝に入れます。



- インジケーターユニットをカバー固定ネジ(3本)で固定します。

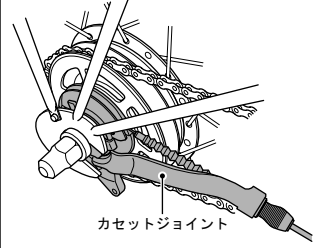
締付トルク：
0.3～0.5N・m (3～5kgf・cm)

- レバーAとレバーBを操作し、動作の確認をしてください。もし正しく動作しない場合は、上記の4に注意して再度取付けてください。

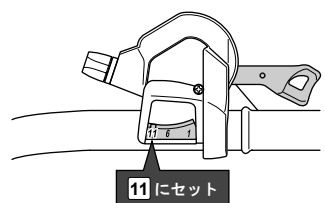
インジケーターユニットおよびシフトレバーユニットの分解はしないでください。故障の原因になります。

フレームから後車輪を取外すときの変速用ケーブルのはずし方

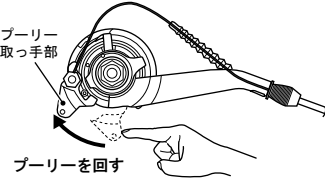
フレームから後車輪を取外すときには、カセットジョイントからケーブルを取外してください。



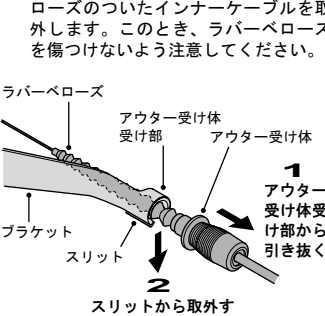
- シフトレバーを⑪にセットします。



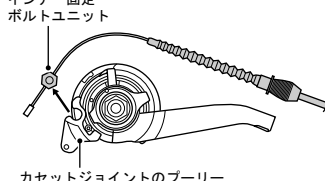
- プリーアのレバーを時計回りに押し、インナーケーブルをゆるめてください。また、この後の3・4の工程はこの状態のまま作業してください。



- カセットジョイントの OUTER 受け体受け部から OUTER 受け体を引き抜きます。ブラケットのスリットからラバーベローズのついたインナーケーブルを取外します。このとき、ラバーベローズを傷つけないよう注意してください。



- カセットジョイントのプリーアから、インナー固定ボルトユニットを取外します。



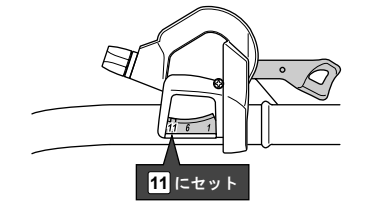
ご注意：
再度ケーブルを取付ける場合は、「変速用ケーブルの取付け」の項目の9～12を参照してください。

締付トルク：
0.3～0.5N・m (3～5kgf・cm)

変速用ケーブルの取付け

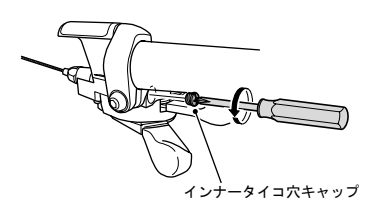
変速用ケーブルは、片エンドケーブルをご使用ください。
片エンドケーブル：OT-SP41/SP40(φ4mm)

- シフトレバーを⑪にセットします。

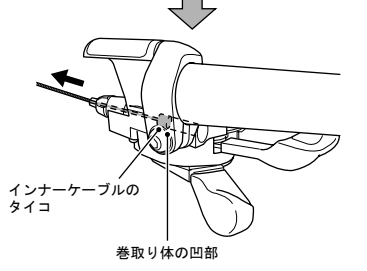
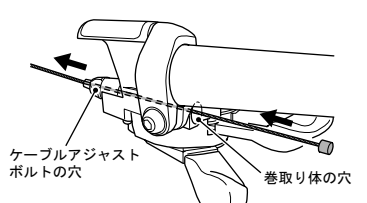


■シフトレバー側

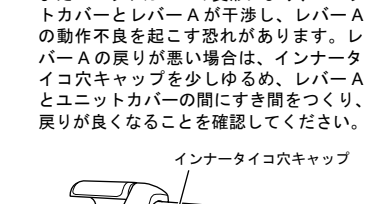
- インナータイコ穴キャップをゆるめ取外します。



- インナーケーブルを巻取り体の穴に入れ、ケーブルアジャストボルトの穴に通します。次にインナーケーブルを引張り、インナーケーブルのタイコを巻取り体の凹部に入れます。



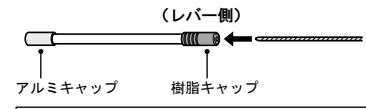
- インナータイコ穴キャップを図のように止まるまで回して取付けます。これ以上回すと、カバーのネジ溝を破損します。またユニットカバーの変形により、ユニットカバーとレバーAが干渉し、レバーAの動作不良を起こす恐れがあります。レバーAの戻りが悪い場合は、インナータイコ穴キャップを少しゆるめ、レバーAとユニットカバーの間にすき間をつくり、戻りが良くなることを確認してください。



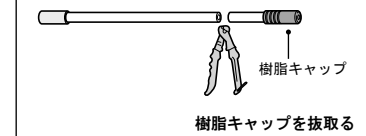
ご注意：
再度ケーブルを取付ける場合は、「変速用ケーブルの取付け」の項目の9～12を参照してください。

締付トルク：
0.3～0.5N・m (3～5kgf・cm)

- インナーケーブルを OT-SP41/SP40 OUTER ケーシングの樹脂キャップ側に通します。



もし、OUTER ケーシングを切断する場合は、樹脂キャップ側をキャップを付けた状態で切断します。その後、切断面を真円に整え、樹脂キャップを取付けます。

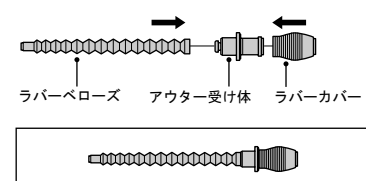


- インナー固定ボルトユニット
ご注意：このインナー固定ボルトユニットは、CJ-S700 専用です。7段、8段の固定ボルトユニットは使用できません。



■カセットジョイント側

- OUTER 受け体に、ラバーカバーとラバーベローズを取付けます。



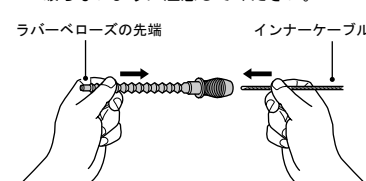
- インナーケーブルに付着しているグリスを拭き取り、ラバーベローズにインナーケーブルを通します。その後、OUTER ケーシングをラバーカバーへ挿入して、OUTER 受け体にセットします。

インナーケーブルは新しいものを使用し、先端をカットしたものは使用しないでください。

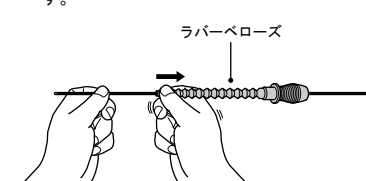
インナーケーブルの先端にご注意



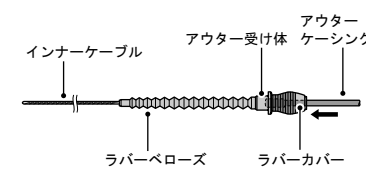
- ラバーベローズの先端をもって、インナーケーブルを入れます。このとき、インナーケーブルの先端で、ラバーベローズを突き破らないよう注意してください。



- ラバーベローズをすべらせてセットします。

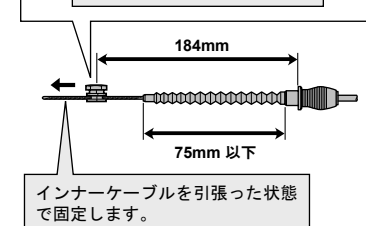
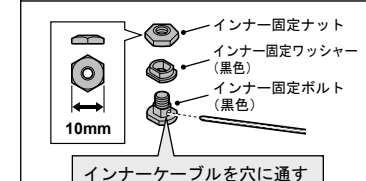


- OUTER ケーシングは、OUTER 受け体の当りまで確実に押し込んでください。



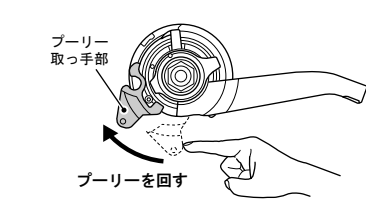
- OUTER ケーシングの端が、シフトレバーのケーブルアジャストボルトに確実に納まっていることを確認した後、インナーケーブルに、インナー固定ボルトユニットを取付けます。インナー固定ボルトユニットの取付けには、専用工具 TL-S700 の使用をお勧めします。

インナー固定ボルトユニット
ご注意：このインナー固定ボルトユニットは、CJ-S700 専用です。7段、8段の固定ボルトユニットは使用できません。

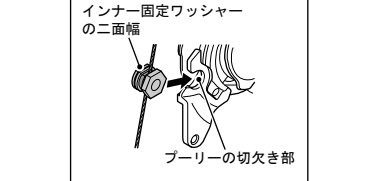
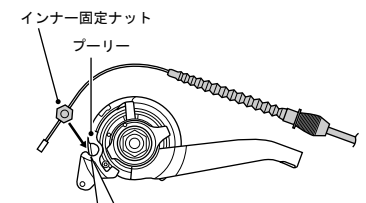


締付トルク：
3.5～5.5N・m (35～55kgf・cm)

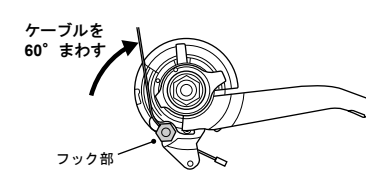
- プリーアのレバーを時計回りに押ししてください。この後の10・12の工程はこの状態のまま作業してください。



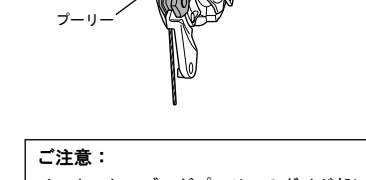
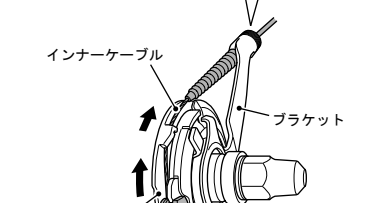
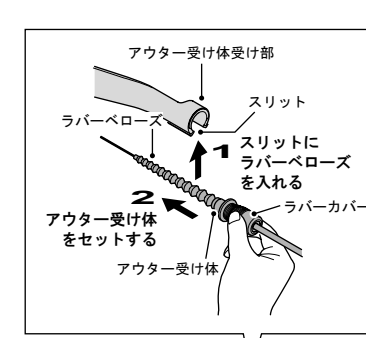
- ケーブルをカセットジョイントのプリーアまで回し、インナー固定ナットを外側(フレームエンド側)に向け、プリーアの切欠き部に、インナー固定ワッシャーの二面幅を入れます。



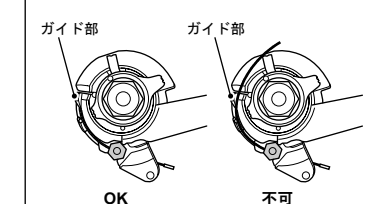
- ケーブルを時計方向に60°回して、フック部にセットします。



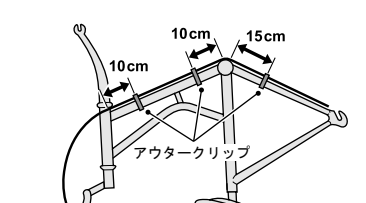
- インナーケーブルをプリーアに図のようにセットし、ラバーカバーを持って、カセットジョイントのブラケットのスリットに、インナーケーブルのラバーベローズ部を入れ、OUTER 受け体をカセットジョイントの OUTER 受け体受け部に確実にセットします。このとき、ラバーベローズを傷つけないよう注意してください。



ご注意：
インナーケーブルがプリーアのガイド部に正しく納まっていることを確認してください。



- ケーブルをフレームに OUTER クリップで固定します。



この取扱説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。ご購入された自転車及びシマノ製自転車部品以外に関するご質問は、ご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをおすすめいたします。

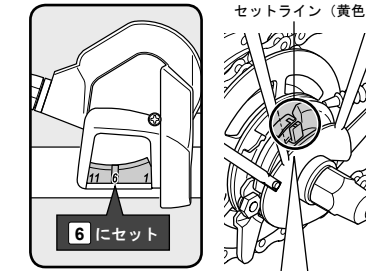
※取扱説明書は下記にてご覧いただけます。
<http://techdocs.shimano.com>

製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

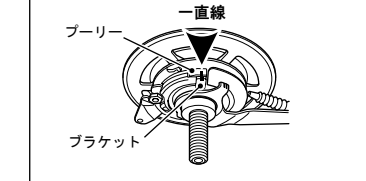
カセットジョイントの調整方法

- シフトレバーを⑪→⑥にセットします。この状態で、カセットジョイントのブラケットと、プリーアのセットライン(黄色)が一致していることを確認してください。

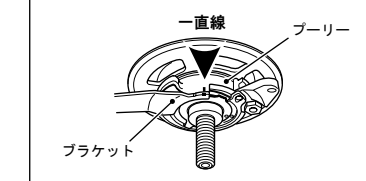


カセットジョイントのセットライン(黄色)は、上部と下部の2ヶ所にあります。見やすい方をご利用ください。

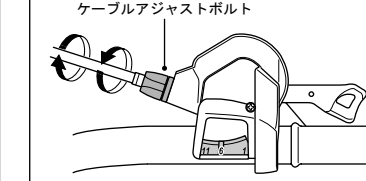
自転車を立てた時



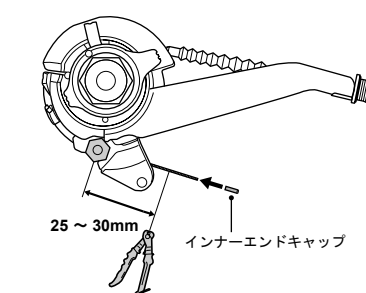
自転車を倒した時



もしセットライン(黄色)が一致していない場合は、シフトレバーのケーブルアジャストボルトを回して、セットライン(黄色)を合わせてください。その後、シフトレバーをもう一度⑥→⑪へ、そして⑪→⑥に動かして、セットライン(黄色)が一致していることを再度確認してください。



- カセットジョイントの調整後、余分なインナーケーブルを切断します。その後、インナーエンドキャップを取付けます。インナーエンドキャップを取り付けた後、チェーンに当たらないようインナーケーブルを外側(フレームエンド側)に少し曲げてください。



25～30mm
インナーエンドキャップ